



「続トモダチ作戦」実施しました。

8月に米国副大統領バイデン氏が来県したことが契機となり、米国の小中学生らによるメッセージ(ファイルにして8冊分)が名取市に届けられました。当初は市内7か所の仮設住宅の集会所に置かれていたのですが、市民から「英語で書かれているため、せっかくのメッセージなのに読めない」という声が上がリ、「続トモダチ作戦」と称して翻訳ボランティアを募集しました。

MIAでの翻訳作業は9月15日から開始し、10月24日まで全8回、それに加え、在宅での翻訳作業にもご協力いただきました。

ご協力くださった方々は、MIA外国人支援通訳サポーター登録者有志に加え、「仙台ボランティア英語通訳ガイドグループGOZAIN」、「相談支援の会OASIS」、「福島善意通訳者の会」および「宮城善意通訳者の会」(五十音順)のみなさんと延べ100名。宮城県国際交流員キャメロン・ピークと宮城県教育庁義務教育課ジェフリー・カーナーさんがアドバイザー役で同席しました。

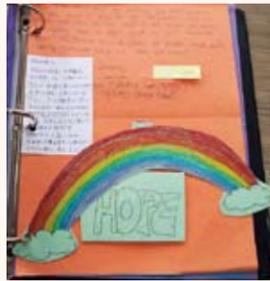
「少しの時間で力になりたい」というお気持ちでMIAに駆けつけてくださった方も多く、毎回たくさんの方々にお集まりいただきました。

ボランティアのみなさんは、子どもたちの心がこもったメッセージに応えるように、また、手書きの文面からその思いを引き出すように、一

文一文丁寧に翻訳してくださいました。時折、「このメッセージにぴったりの日本語は?」「この子の意図しているところは?」「このジョークを日本語に当てはめると?」などと相談しながら、和気藹々とした雰囲気が進められました。

何枚ものメッセージに触れているうちにボランティアさんも心を動かされたようです。

「こんなにたくさんの方々の米国の子供たちがメッセージを書いてくれてとても励まされる。」「心温まる米国の小学生のカードや手紙に接するのはとても心が温まる。」「手書き文字には親しみを感じる。この作業はとてもよい経験になった。」など、この作戦に喜びを感じながら参加して下さったことに、感謝申し上げます。他にもたくさんの方々の感想をいただいています。そちらはMIAブログ(<http://www.mia-miyagi.jp/blog/>)にて紹介していますので、合わせてご覧ください。



このようなかわいらしい手作りメッセージもたくさんありました。

“みやぎのふるさとふれあい”事業～名取編～

宮城県国際交流協会(MIA)では、県内の自治体と協力し、毎年秋に“みやぎのふるさとふれあい”事業を実施しています。県内に暮らす外国人の方が地域の伝統行事を体験したりホームステイを通し、みやぎのすばらしさを知ってもらうプログラムです。今年は、地震の影響もあり実施が危ぶまれましたが、利府町、村田町、名取市から手が上がり、それぞれ募集人数を大幅に上回る申し込みがありました。今年初めて実施した名取市(10月22、23日実施)では、被災地であるにも関わらず、9か国16名の外国人を受け入れてくださいました。国際交流協会「ともだちin名取」の皆さんが中心となり、初日は、被災地見学と美田園第二仮設集会所で被災者の方と一緒に中国水餃子づくり、二日目は、芋煮会やお神楽ワークショップなどで交流を深めました。実際に被災地を訪れ、被災者の方々と交流を行った参加者のひとり、カメルーン出身のNgako Kadji Francois Marie(カジさん)に感想を伺いました。カジさんは昨年4月に来日し、3月11日の東日本大震災も経験しました。

3月11日に大学にいました。すごい揺れで、パソコンなど全て机や棚から床に落ち、とても怖かったです。電気や水道など全てとまったため、その日から4日間、八幡小学校に避難しました。避難していた日本人の方はとても親切でおにぎりなどを分け合いました。私は自分の国にはもどらず、勉強などを続けるため日本にずっといました。

そんな中、津波の話を知りました。電気が戻ってからテレビやYouTubeで映像を見ましたが、それが現実だとは思いませんでした。なので、今回実際に名取市に行かせていただき、その現場を目にした時、とても衝撃を受け

ました。本当にかわいそうだったのと同時に、もし自分がここにいたらどうしていたのだろうかという他人事とは思えない不安感もありました。特に高齢の方が多く地域の方ですので、今でも心配です。今回のプログラムで芋煮会の時に、大変なことも乗り越えていこうと皆で歌を歌ったことがとても印象に残っております。

私は生物学(公衆衛生、特に子供たちの肺炎について)を研究しているのですが、これは人間の安全保障と深いつながりがあると思います。今回名取市や石巻などの地域でこのような津波の被害があり、発展した国でも発展途上の国でもいっどこでどのような災害に見舞われるかわからないのだと思いました。トルコでも最近大きな地震があったばかりです。そのためにも、私たちは戦争や争いなどではなく、「人間」自身が尊重される安全保障の基盤を築かなくてはならないと思っています。今回の名取市の体験で、自分の分野でこのようなことに貢献できればいいなと感じました。

最後に今回の震災で感じたことは、震災の中でも日本人の方々はとてもやさしく親切だということです。アフリカでは食べ物もなく大変な子供達もたくさんいますが、皆が平等にこのようにやさしく親切な気持で現状を変えていければうれしいです。



美田園第二仮設集会所にて。カジさんは右から2人目。

賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げるために、皆様の御理解と御協力を求めています。

- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
○ 協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
○ I/MIA多言語からわら版(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)
- 当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免
○ 個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー仙台支店 (株)ジェイティービー東北北支店 宮城観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター
- 入会方法
○ 本協会まで御連絡ください。
○ 所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.58
編集・発行 財団法人 宮城県国際交流協会
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/

● 巻頭インタビュー

七ヶ浜での貴重な経験



マーティ ミックエルリースさん
アメリカ合衆国マサチューセッツ州出身
宮城県七ヶ浜町国際交流員(CIR)
七ヶ浜国際村勤務

震災から7か月経った2011年10月、七ヶ浜町を訪れました。震災で海岸に打ち上げられていた大量の貨物コンテナなどは既に撤去されていましたが、がれき一時置き場にはがれきが山をなしていました。まだまだ震災の爪痕が残る七ヶ浜。

ところで、「日本三大外国人避暑地(※1)」の一つがここ七ヶ浜町高山地区(※2)にあることをご存知でしょうか?そんなこともあって、七ヶ浜は国際交流が古くから盛んなところですよ。

今回の巻頭インタビューは「七ヶ浜国際村」に国際交流員として勤務しているマーティさんです。お伺いした時はちょうど町民の方々に英語を教えている様子でした。

—この英語教室はつい最近始まったと伺いましたが…

今日で2回目です。仮設住宅で行われていた編み物教室に私も参加していたら、そこの「同級生」に英語を勉強したいという方がいらっちゃって、それならやりましょうと始まりました。受講生には仮設住宅に住んでいる方もいらっちゃいます。

—七ヶ浜に来てどれくらいになりますか?

2010年7月末に赴任しましたので、1年ちょっとでしょうか。

—であれば、来日1年足らずであの震災を経験されたのですか?

そうです。それまで大きな地震を全く経験したことがなかったのですが、ここ国際村は丈夫な岩盤の上に建っているせいか、それほど揺れなかったんです。物もほとんど落ちませんでした。ですので、地震直後は今日も5時で帰れると思っていたくらいです。ですが、徐々に普通の状態ではないことが分かってきました。町内は津波警報が轟々と鳴っていましたし、発電機で電源が確保できてから点けたテレビではおそろしい光景が…幸いと言っているくらいですが、私は津波を直接見ていません。施設の2階に上れば見えたと思いますが、国際村のスタッフから「ここ(施設内)から出ないように!」と言われました。地震直後から近隣の住民の方が避難をしてきたので、毛布や飲料など備蓄していたものを出してきて配るなどあわただしかったです。夜には窓ガラスが揺れる音がしました。近隣の石油タンクが爆発した衝撃だったようです。向こうの空が真っ赤に見えました。

—七ヶ浜も大きな被害を受けましたが、その後はいかがでしたか?

5時に帰るはずが、結局その日から1か月間、国際村で寝泊まりしました。震災直後、かろうじて使えたメールで神戸にいる大切な知人とは連絡が取れていたのですが、その後は全くダメでした。とにかく電波が全く届かなくて…3月13日でしたが、電波を求めて自転車まで三井アウトレットパーク仙台港付近まで行きました(※3)。まだがれきが道にあふれていました。でも、どうにか電波がキャッチできて、アメリカにいる母に短いメールを送ることができました。

—帰国は考えませんでしたか?

1週間後に米国大使館手配の成田行きバスが仙台から出るという情報が入ってきました。原発80km圏内には避難勧告が米国政府から出ていることも聞きました。ですが、私はきっぱり断りました。震災以来、私は避難所と化した国際村で朝から晩まで働いていて、家にも帰らず、疲れていて、相当気が張っていたと今になってみれば思いますが、いずれにしても私にこんなにもよくして下さった



地域の方々を対象とした英語教室の様子。

七ヶ浜の人々をさしおいて、自分だけ国に帰るなんて考えられませんでした。—知り合いのALTも少なからず一時帰国したと思いますが…

気仙沼に赴任していたALTと私はとても仲が良かったのですが、なかなか連絡が取れませんでした。しばらくたってから、彼が「アメリカに帰ります」と電話をくれました。安否の確認ができて私はとてもうれしかったことを覚えています。日本語があまりできない外国人はどうしていいかわからない状況だったと思いますし、一時帰国はやむをえない選択だったと思います。多くのALTが一時帰国しましたが、ほとんどが4月末ぐらいまでに日本に帰ってきました。

—そんな中、マーティさんは七ヶ浜に残られた。

私は日本語が分かるので状況の把握もできていましたし、何より果たすべき役割がありました。国際村には避難者がいけば多い時で400人ぐらい、避難所としては6月末まで続きました。最初の2か月は朝から晩まで働きづめで時間が経つのがすごく遅く感じましたが、それからあとの5か月は早かったです。決して楽しかったわけではありませんが、毎日笑っていました。避難者の中で高校生がたくさんいて子どもの世話をしてくれたり、楽しいこともたくさんありました。災害が避けては通れないことだとすれば、ここ七ヶ浜にいられてよかったと思っています。人間の強さやポジティブな気持ちを再確認することができました。

—ところで、マーティさんは日本語をどのように学んでこられたのですか?

中学の時、実家の近くに語学学校ができ、友だちから日本語の体験レッスンを一緒に受けようと言われたのがきっかけです。私には外国語の勉強はとても面白く、そのままずっと続けました。高校生の時に両親の猛反対を押し切って、神戸の女子高に1年留学しました。震災直後に連絡をしたのはこの時ホームステイしていたご家庭の方です。アメリカの両親は震災後も「国に帰って来い!」とは一度も言いませんでしたが、神戸の「お母さん」には何度も「神戸に帰っておいで!」と言われました(笑)。それから、大学生の時には東北大学の文学部に1年留学していました。ですので、七ヶ浜が3か所目の日本です。

—そんな七ヶ浜はマーティさんにとってどういうところですか?

人が優しく、海の色がきれいな七ヶ浜が震災後ますます好きになりました。駅がもう少し近ければと思うこともありますが…七ヶ浜の人々ともっと仲良くなるために何ができるのかを考えています。12月に一時帰国することになったのですが、私の大好きな七ヶ浜の人々の今の暮らしをアメリカの人々にお伝えし、募金活動などに広げられたらと思っています。

(※1)外国人の間では「山の軽井沢、湖の野尻湖、海の高山」と称されている。
(※2)明治時代に仙台在住のアメリカ人医師が妻の療養地として見出し、アメリカ人宣教師らによって開発された。
(※3)地図上で確認すると、距離は約10km。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2011年12月～2012年1月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2011	12	S	M	T	W	T	F	S	2012	1	S	M	T	W	T	F	S
							1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	
	4	5	6	7	8	9	10			8	9	10	11	12	13	14	
	11	12	13	14	15	16	17			15	16	17	18	19	20	21	
	18	19	20	21	22	23	24			22	23	24	25	26	27	28	
	25	26	27	28	29	30	31			29	30	31					

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方 人:主催 日:会場 時:時間 申:申し込み 参:参加費 電:電話 FAX:FAX E:メール HP:ホームページ

12月 DECEMBER

12・1月 毎週金曜日

- 国際語エスペラント講座 塩釜教室**
 仙台エスペラント会
 塩釜市港町2-3-11 ビルドスペース
 12:30～13:30
 電話・FAX・Eメール
 初回無料、継続はテキスト代等要
 080-3198-4818(ビルドスペース)
 FAX 022-389-1620(手塚)
 E-mail esperanto@goo.jp
 http://www.birdoflugas.com

3日

- 地球の子ども通信20周年記念事業
 「第3回国際子ども会議in Miyagi」**
 地球の子ども通信(CCE)
 仙台国際センター
 9:30～16:00
 対象:小学生～高校生、電話・FAXで事前申込み要
 無料
 FAX 022-376-5382

スペシャル・ワークショップ「スイスのタペ」(仮題)

- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
 仙台市青葉区本町二丁目8-10-4・5F
 未定 ※詳細は後日HPにて告知
 要事前申込み
 未定 ※詳細は後日HPにて告知
 022-225-1475
 FAX 022-225-1407
 contact@alliancefrancaise-sendai.org
 http://alliancefrancaise-sendai.org

4日

- エブル・クラス(トルコ・マープリング)**
 仙台日本トルコ協会
 アプロードラングージセンター仙台校
 10:30～12:30
 予約制
 全6回(1回あたり5,500円)
 022-213-7767
 FAX 022-213-7793
 sendai@turkeycenter.co.jp
 www.turkeycenter.co.jp/sendai

9日

- 第40回仙台YMCA国際青年クリスマス**
 仙台YMCA
 仙台市民会館地下展示室
 18:00～20:30
 10月下旬よりチケット販売、当日券あり
 留学生・就学生・中学生以下:無料
 学生(高校生以上):500円 一般:1,000円
 022-222-7533
 FAX 022-222-2952
 info@sendai-ymca.org
 www.sendai-ymca.ac.jp

10日

- 貝山幸子のシャンソン講座「ドミノ・Domino」をフランス語で歌う(12月のテーマ)**
 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
 仙台市青葉区本町二丁目8-10-4・5F
 16:00～17:30
 要事前申込み
 3,000円
 FAX 022-275-5063
 ※12月3日に同じ

11日

- 利府町クリスマス交流会**
 利府町国際交流協会
 利府町公民館3階文化ホール
 11:00～13:00
 利府町役場企画課まちづくり推進班
 大人800円 中・高校生500円
 小学生300円 外国籍の方は無料
 022-767-2113
 FAX 022-767-2100
 machihan@rifu-cho.com

オヤ(トルコ手芸)教室

- 仙台日本トルコ協会
 アプロードラングージセンター仙台校
 10:30～12:30
 予約制
 全6回(1回あたり3,000円)
 FAX 022-261-6768
 ※12月4日に同じ

12日～18日

- ユニセフ写真パネル展「わたしたちとユニセフ」**
 宮城県ユニセフ協会
 ボランティア「イトカの会」
 東北学院サテライトステーション
 (仙台市青葉区一番町 仙建ビル1F)
 12日13:00～18:00、13～17日10:00～18:00、18日12:00～15:00
 不要
 無料
 022-218-5358
 FAX 022-218-5945
 sn.municef_miyagi@todock.jp
 http://www.unicef-miyagi.gr.jp

17日

- ノエル・パーティー(※クリスマス・イベント)**
 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
 仙台市青葉区本町二丁目8-10-4・5F
 未定 ※詳細は後日HPにて告知
 要事前申込み
 未定 ※詳細は後日HPにて告知
 FAX 022-275-5063
 ※12月3日に同じ

17日～23日

- <風百展>カザモモ展**
 NPO法人黒川こころの応援団「街喫茶をり」
 Gallery叶蔵
 11:30～17:30
 無料
 022-347-0028
 070-5546-8669

18日

- エブル・クラス(トルコ・マープリング)**
 仙台日本トルコ協会
 アプロードラングージセンター仙台校
 10:30～12:30
 予約制
 全6回(1回あたり5,500円)
 FAX 022-275-5063
 ※12月4日に同じ

19日

- 東日本大震災チャリティ講演会**
 講師:有森裕子氏「希望と勇気を分かち合う」
 仙台1ソングクラブ
 仙台国際センター 大ホール
 開場18:00 開演18:30
 仙台1ソングクラブ事務局 右田まで
 一般2,000円 学生500円
 (但し数に限りあり)
 022-296-0192
 FAX 022-296-0192
 d26sendai@zonta-d26.jp
 http://sendai1-zonta.org/

21日

- 申請取次行政書士による外国人のための入管
 手続無料相談会**
 宮城県行政書士会
 仙台市青葉区役所4階市民相談室
 13:00～16:00
 電話受付または予約なしでもOK
 無料
 022-261-6768
 FAX 022-261-0610

23日

- クリスマスパーティー**
 宮城県仙台国際交流グループ萩の会
 仙台国際センター
 10:00～15:00まで
 メール(12月10日メチ)
 1,000円
 world_peace_20021116@yahoo.co.jp
 http://www.haginokai.com/

25日

- オヤ(トルコ手芸)教室**
 仙台日本トルコ協会
 アプロードラングージセンター仙台校
 10:30～12:30
 予約制
 全6回(1回あたり3,000円)
 FAX 022-261-6768
 ※12月4日に同じ

お知らせ

倶楽部MIAの最新号およびバックナンバーはMIAのHPでもご覧いただくことができます。
 URL: <http://mia-miyagi.jp/publication.html#mia>

1月 JANUARY

10日

- MIA日本語講座特別コース初級1・2**
 財団法人宮城県国際交流協会
 宮城県仙台合同庁舎7階
 10:00～12:00(毎週火～金)
 電話・FAX・E-mail
 2,000円
 FAX 022-275-3796
 022-272-5063
 mail@mia-miyagi.jp
 http://www.mia-miyagi.jp/

13日

- MIA日本語講座特別コース漢字1・2**
 財団法人宮城県国際交流協会

- 宮城県仙台合同庁舎7階
 13:00～15:00(毎週金)
 電話・FAX・E-mail
 2,000円
 FAX 022-275-3796
 ※1月10日に同じ

18日

- 申請取次行政書士による外国人のための入管
 手続無料相談会**
 宮城県行政書士会
 仙台国際センター
 10:00～12:00
 ※12月21日に同じ

19日

- ガーナに暮らして
 ーガーナはカカオだけじゃない**
 アフリカ・セミナーの会
 仙台国際センター
 10:00～12:00

- 不要
 700円
 FAX 022-362-7907

22日

- CCEチャリティバザー**
 地球の子ども通信(CCE)
 理事宅
 10:00～15:00
 FAX 022-376-5382

28日

- CCE研修会「子どもの国際交流」**
 地球の子ども通信(CCE)
 仙台市桂市民センター第2会議室(予定)
 10:00～12:00
 FAX 022-376-5382



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)
 TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

JICA宮城デスクが交代しました!

離任挨拶

JICA宮城デスク 佐藤佳苗

JICA宮城デスク(宮城県国際協力推進員)の佐藤です。毎号この欄の記事を書いて参りましたが、10月下旬をもちまして任期満了のため離任致しました。これまで、MIAやJICAの様々な事業を通しお世話になりました皆様に、心から感謝致しております。ありがとうございました。今後は後任の伊東が業務を引き継ぎます。今後も、これまでと変わることなくお付き合い頂きますよう、よろしくお願い致します。

着任挨拶

JICA宮城デスク 伊東和希子

はじめまして。宮城県国際協力推進員に着任しました伊東和希子と申します。自然いっぱいの東北で農家の娘として生まれ育った私は、青年海外協力隊としてインドネシアへ行き、有機野菜の栽培普及活動を行って来ました。そこでは人との出会いから始まる広がり大切さを学び、宮城の地においても国際協力を通して地域の方々繋がっていききたいと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願い致します。



MIA日本語講座特別コース受講生募集!!!

今年度のMIA日本語講座特別コースは「初級1」、「初級2」、「漢字1」、「漢字2」の計4クラスを開設します。身近に日本語を学習したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。多言語(日英中韓)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	回数	テキスト	受講料	定員
初級1 初級2	火～金	10:00～12:00	1月10日(火)～2月10日(金)	20回	『みんなの日本語初級I-II 初級で読めるトピック25』	6,000円 ※テキスト代は別途	20人 各クラス
漢字1 漢字2	金	13:00～15:00	1月13日(金)～2月10日(金)	5回	オリジナルプリント配布	2,000円	20人 各クラス

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『人口激減 移民は日本に必要である』

毛受敏浩 著 (新潮新書 680円)

「国際交流に長年携わってきた筆者が、本書で提案しているのは、単なる数合わせのための移民受け入れではない。外国人をもたらす「異文化」を日本のパワーとして取り込み、それをもって再生を図るというものだ。」(本書190ページより抜粋)

人口減少が加速化する我が国において移民受け入れが救国の策となるのかを24年後の日本をシミュレーションしながら説くユニークな日本再生論。国際交流を手段として、どんな未来社会を切り開くことができるのかを考える最新の一冊です。

